

●小中保、市内43カ所を実施

土壌中放射性物質の測定を実施

東京電力福島第一原発事故による放射性物質の影響を調査するため、市では11月14日から18日にかけて市内の小中学校および保育園の計43カ所の土壌を採取し、放射性物質の測定をしました。

これは、放射線の影響を受けやすいとされる児童や生徒、園児の生活環境の安全性を確認するため実施するものです。

なお測定結果は、次号の広報紙(広報たかやま12月15日号)で掲載します。

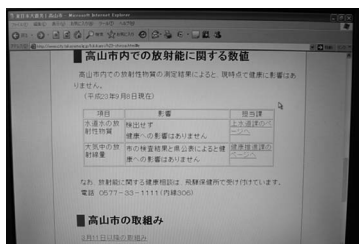


11月14日に行われた土壌採取の様子
(西小学校グラウンド)

空間放射線量や水道水も実施中

市では、空間放射線量率の測定を8月17日から、水道水の放射性物質測定を3月23日から実施していますが、今までにいずれの検出結果も健康に影響のない値です。

このほど実施した土壌中放射線物質の測定結果と合わせ、市ホームページ、ヒッツFM、広報たかやまなどで市民のみなさんにお伝えするほか、市役所本庁、各支所でも閲覧できます。



<http://www.city.takayama.lg.jp/kikikanri/h23-shinsai.html>

高山市内の放射能 検索

問合せ

危機管理室

353345

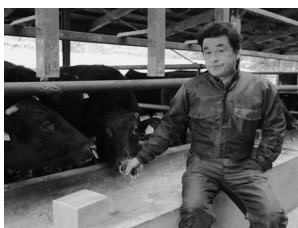
飛驒牛

地域が一丸となってブランド牛を支える

今年東京電力福島第一原発事故に端を発し、飛驒牛の価格低迷や消費の落ち込みなど大きな影響を受けました。

問題発生の後、県は9月から全頭検査を実施し、飛驒牛の安全性を確認。市でも2,000万円の補正予算を計上し、安全な地元産稲わらの確保をはじめ、飛驒地域の他市村やJAと共同し、飛驒牛の販売促進を後押しするなど、全力で飛驒牛の支援に取り組んでいるところです。

●インタビュー「稲作農家の協力に感謝。与える餌の安全さもPR」



辻直司さん
(飛驒肉牛生産協議会会長・清見町)

「全頭検査の実施で安全な飛驒牛をアピールでき、取引価格も回復し安心して。今後は消費拡大に向けてさらに販売促進を行うとともに、飛驒牛には安全な餌を与えていることと、豊かな自然の中、愛情込めて育てているおいしい飛驒牛であることを更にPRしていきたい。ま

●販売促進を各地で展開
「消費者に飛驒牛の魅力・おいしさをアピール」

市や飛驒牛生産農家などは、消費者に直接飛驒牛の安



11月19日～20日に市内で行われた「飛驒牛まつり」では多くの来場者が飛驒牛に舌鼓。また、タレントの阿藤快さんと寺門ジモンさんも飛驒牛のおいしさを会場でPRしました



飛驒牛まつりではラッピングされた高速バスのテープカットが行われました

全性とおいしさをPRするため、県内外のスーパーやイベント会場で飛驒牛の販売促進活動を行っています。また、飛驒牛ポスターやステッカーの作成、高山と東京・大阪・名古屋を結ぶ高速バスのラッピングなど、さまざまなPR活動を展開しています。

●お歳暮にぜひ飛驒牛を「地域のみんなが地域ブランドを支えよう」

これからの季節、お歳暮やご家庭で、おいしい飛驒牛をぜひご堪能・ご活用ください。

問合せ

畜産課

353142